

安楽寺の建造物にみる意匠と技術



山門の扉を飾る唐獅子と牡丹の繊細な彫刻が見事！

鳥取県の保護文化財に指定された安楽寺は、浄土真宗寺院としては県内最古の江戸後期の建築です。本堂から山門、鐘楼に至るまで、地元の名大工による独特な意匠や技術、精緻な彫刻で彩られています。

2025年
12月6日(土)

13時30分～15時

場所 安楽寺(湯梨浜町宇野 876)

入場無料・申込不要

講演終了後には
現地見学会もあります

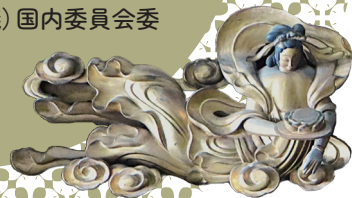


海老虹梁と呼ばれる部材に海老の姿を彫る大工の遊び心にも注目



講師 濱田 晋一氏

名古屋工業大学大学院准教授。名古屋工業大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。(公財)文化財建造物保存技術協会を経て、2019年より現職。専門は日本建築史・城郭史・文化財保存修理。鳥取県文化財保護審議会委員、日本イコモス(国際記念物遺跡会議)国内委員会委員ほか。



文化財指定の本堂の中で聴講できます！

駐車場から徒歩3分
日交バス橋津線「宇野西口」下車徒歩5分

